

## 第1回 北海道開発局発注業務に係る不正事案再発防止対策検討委員会の議事概要について

(開催日時)

令和3年8月6日(金) 14:00 ~ 15:30

(開催場所)

札幌第1合同庁舎 15階特別会議室

(出席者)

委員長	向田 直範	学園法律事務所弁護士
委員	阿座上洋吉	地域経済研究所理事長
	高野 伸栄	北海道大学工学研究院教授
	森戸 義貴	大臣官房技術調査課長
	金森 敬	北海道局予算課長

北海道開発局

橋本 幸	北海道開発局長
竹田 秀一	局次長
柘植紳二郎	開発監理部長
坂場 武彦	事業振興部長

(議事概要)

- 委員の紹介
- 委員会の設立趣旨について(橋本局長あいさつ)

先月26日、北海道開発局の幹部職員が、官製談合防止法違反及び公契約関係競売入札妨害の容疑で逮捕されましたことは、国民、道民の皆様の信頼を大きく損なう行為であり、国民、道民の皆様にお詫びを申し上げなくてはならないと考えています。

北海道開発局では、過去の入札談合等への反省と不祥事の根絶に向け、コンプライアンスの推進に取り組んできておりました。しかしながら、このような事態が生じたことを重く受け止め、本日、本件の原因究明とこのような事態を二度と発生させないための再発防止を検討するために「北海道開発局発注業務に係る不正事案再発防止検討委員会」を設置いたしました。

本委員会の公正性・厳正性・専門性を確保する観点から、コンプライアンスや入札契約の実情に大変お詳しい3名の方に有識者委員をお願い致しました。また本件は「通常指名競争入札」という入札方式に関する事案ですが、その運用が北海道開発局と地方整備局で異なることなどを踏まえ、全国的な知見を有する本省関係課長も委員会に参加しております。

本会議設置にあたり、国土交通大臣から、事実関係の把握及び原因究明に努め、徹底的に膿を出し、再発防止策を講じるよう指示を受けました。更に改革にはスピード感も必要と考えています。タイトなご議論をお願いすることにはなりますが、忌憚のない厳しいご意見を

お願いし、最終的な報告書を取りまとめた後には、局長として全責任をもって、ひるまず改革を断行していく決意です。

どうぞ宜しくお願い申し上げます。

- 当委員会の運営について、事務局から説明。
- 委員長の選出  
互選により、向田委員が委員長に選出された。
- 事案の概要について、事務局から説明。
- 北海道開発局におけるコンプライアンスのこれまでの取組について、事務局から説明。
- 当該発注業務に係る入札・契約状況等について、事務局から説明。
- 主な意見は以下のとおり。
  - ・ 通報窓口はしっかり活用されているのか。
  - ・ 所長に対するコンプライアンスの講習はどのようになっているのか。
  - ・ 指名業者名の情報漏えいはやってはいけないこと。これまでのコンプライアンスの取組の想定を超えている。
  - ・ 選定条件や入札結果について、不自然なところはなかったのか。その検証はなされているのか。
  - ・ 業者との飲食に関するルールはどうか。
  - ・ 事実関係が分かった段階で再発防止策などの議論をすすめていくべき。
  - ・ 通常指名競争入札の業者選定の過程を聞くと、客観的なデータに基づいて選定しているように思えるが、事実関係をしっかり確認して検証する必要がある。

以上